



CLOSE-UP

かなわ病院の専門外来

1 慢性腎臓病専門外来(CKD外来)

8人の医師による協力体制でサポート

最近、テレビ局がCKDを特集番組で取り上げるようになりました。CKDとはChronic Kidney Diseaseの略で、慢性腎臓病と訳します。CKDが脚光を浴びるようになった理由はふたつです。①CKD患者は、血液透析を受けなくてはならない慢性腎不全の予備軍です。日本では30万人近い患者が血液透析を受けています。しかも、透析患者は年々直線的に増え続けています。②CKDは心血管イベント(心筋梗塞・心不全・脳卒中)の原因となり、単独危険因子として糖尿病よりも恐ろしいという結果が報告されています。

日本では成人10人に1人がCKDと予想されています。自分がCKDと知らない患者が何人もいます。CKDは尿検査・血液検査ですぐわかる病気ですが、ぎりぎりまで症状がでません。何かの機会にCKDを指摘された方やご自分がCKDではないかと心配な方はCKD外来を受診しましょう。

生寿会では2年前に腎臓内科医7名と糖尿病内科医1名が『チームCKDかなわ』を結成し、慢性腎臓病専門の外来・症例検討会・勉強会をかなわ病院で始めました。我々のチームは、症例検討会において1症例を8人の医師で吟味し、見逃しを減らすと共に種々の視点からアイデアを出しあい、患者ひとり1人にフィットしたCKD診療を行っています。

チームCKDかなわ 宮崎高志

慢性腎臓病専門外来(CKD外来)

月曜日／14:30～16:30
火曜日／14:00～16:00担当医師：山本富男
担当医師：宮崎高志

2 セカンドオピニオン外来

専門の医師がご相談をお受けします

かなわ病院では、現在まで腎炎・腎不全・糖尿病・関節リウマチなど、長期間にわたって加療を要する患者さんを積極的に受け入れて参りました。近年、これらの病気に対する目覚ましい進歩があり、新たな治療法が開発されています。しかし、これらの治療には医師の専門的な知識と経験が必要とされるとともに、患者さん・家族の深い理解と援助が不可欠です。

私たちは、日々の診療の中で、患者さん・地域医療を担う先生方より各疾患について専門領域の医師から治療方針について、じっくりと話を聞きたいという声を耳にしました。また、日常の診療では患者さんが自分の治療法を納得できるまで考える十分な時間が取れない事が多いと思います。

当院のセカンドオピニオン外来では、当院および当院以外の主治医におかりの患者さんを対象に、診断内容や治療法に関して私たちの意見・判断を提供するための十分な時間を用意いたします。その意見や判断を、患者さんがご自身の治療に際しての参考にしていただくことができます。

セカンドオピニオン外来 山田晴生

セカンドオピニオン外来

土曜日／14:00～ 完全予約制です。

担当医師：山田晴生

対象となる疾患：腎臓病・腎不全・糖尿病・血液透析・リウマチ・膠原病・アレルギー性疾患

※この外来では病気についての資料を使った説明を行い、検査・投薬などは行いません。

